

2015年度国際認定山岳医研修会 札幌クラスタ開催要項

2015. 11. 28発表

日時：2016年2月20日(土)午前8時30分～2月21日(日)午後15時解散予定

場所：札幌手稲山、手稲パラダイスヒュッテ

当該教程：2015年度募集要項コースプログラム 一般教程

6. 札幌クラスタ 救助技術

7. 山岳スポーツ活動を体験する 山スキー・ボード・スノーシュー

開催日	項目	規定	内容	必修※ ¹
2月20日	救助技術総論	1時間	理論	○ ☆
2月20日	救助技術実践	2時間	実習	○ ☆
2月20日	組織救助技術実践	2時間	実習	○ ☆
2月20日	ヘリコプターレスキュー※ ²	3時間	理論+実習	☆
2月20日	低体温症	1時間	理論+実習	○ ☆
2月21日	クレバスレスキュー	1時間	実習	☆
2月21日	山岳スポーツ体験	7時間	実習	☆

※ 1 ○国内認定医希望者必修、☆国際認定医希望者必修

※ 2 2010, 2012年のregulation改訂を受けたプログラム。
最後の注意事項を必ずお読み下さい。

内容：2月20日(土)

<p>組織救助との連携～北海道警察山岳遭難救助隊との合同訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道警察山岳遭難救助対策官による講義 北海道警察山岳遭難救助隊によるデモンストレーション 北海道警察山岳遭難救助隊との合同救助訓練 救助待機要領 ～ 班対抗雪洞コンペティション
<p>ヘリコプターレスキュー (天候不順時翌日延期又は中止)</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道警察航空隊運航統括官による講義 北海道警察航空隊特務隊員によるデモンストレーション
<p>富士山と南アルプスにおける組織救助技術を学ぶ～静岡県警山岳遭難救助隊指導官</p>
<p>低体温症救助実践～実習</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道警察山岳遭難救助隊との合同救助訓練
<p>2015 ERC&ICAR に基づく雪崩埋没者の蘇生手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ガイドラインに基づく北海道警察山岳遭難救助隊によるデモンストレーション 北海道警察山岳遭難救助隊との合同救助訓練
<p>雪崩エアバッグデモンストレーション</p>
<p>山岳救助での心肺蘇生 ～機械式&間欠的～ (Workshop 自由参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械式胸部圧迫の山岳救助への導入と挑戦 Intermittent CPR in Hypothermia ～ new concept

2月21日(日)

クレバスレスキュー～デモンストレーション&体験	全員
A* ³ ：山岳スポーツ体験～装備特性を学ぶ(国際認定医希望者必修) クレバスレスキュー実習(国際認定医希望者必修)	
B* ³ ：搬送の実際を知る～要救助者と救助隊の連携を体験する ・搬送体験 ・シナリオトレーニング～救助隊に傷病者を引き継ぐ ・機械式胸骨圧迫を使ってみよう～山岳環境での挑戦	

※3：AまたはBのどちらかを選択受講します。

協力：北海道警察、静岡県警察、フィジオコントロールジャパン株式会社、フクダ電子株式会社、旭化成ゾールメディカル株式会社、株式会社K2ジャパン

講師：北海道警察本部山岳遭難救助対策官

北海道警察本部航空隊運航統括官

静岡県警察本部山岳遭難救助指導官

IFMGA Mountain Guide Dave Hollinger※(末文にprofile紹介)、他ガイド1名

他

◇ 都合により、プログラム、講師の一部が変更になることもありますので、ご了承ください。

定員：15名(予定)

受講資格：

- ・日本登山医学会会員
- ・原則として両日とも参加可能な方

受講決定優先順位：

- ・受講決定は、振込完了順に、正式な受講決定とする。
- ・国際認定山岳医制度または日本登山医学会認定山岳医制度にエントリーされている会員(看護師も含む)で当該教程未受講者は、以下の要領で優先する。
 - 一次締切日迄は全会員が申込できるが、エントリー者10人の枠を確保する。
 - 一次締切翌日～二次締切迄は、全会員(当該教程既受講者含め)の中から先着順とする。
- ・既認定山岳医は、定員に含めない。

クラスタ受講後に制度エントリーした場合の単位の有効性について

認定山岳医制度にエントリーしていない受講者は、将来に遡ってこの札幌クラスタが単位認定されることはありません。ただ、正式エントリー資格のある会員であって、未だエントリーされていない方が受講された場合、受講後1ヶ月以内にエントリー手続を終了し、かつ札幌クラスタ所定の事後課題に合格された場合に限り、2014年度札幌クラスタ受講に該当したカリキュラム(国際または国内)を有効単位とすることができます。

集合場所：手稲パラダイスヒュッテ

集合時間：2016年2月20日(土) 午前8時30分受付開始 午前9時講習開始(厳守)

一般会員用

解散時間：2016年2月21日（日）午後15時解散予定

宿泊：手稲パラダイスヒュッテ（管理人無しの山小屋）

原則として両日とも参加とし、必ずここに宿泊して下さい。

前泊・後泊不可

食事は自炊（弁当手配可）、風呂無し、水道有り、トイレ有り

寝袋・マット・ヘッドライト必要

徒歩圏内にコンビニ等無し

費用：2日間3万円（宿泊費込み）

交通案内：最寄り駅JR手稲駅

テイネハイランド 札幌市手稲区金山172

<http://www.sapporo-teine.com/snow/access/other/>

テイネパラダイスヒュッテ 札幌市手稲区金山172-1

テイネハイランドスキー場手前最終コーナーから林道を200m程入る

<http://maps.google.co.jp/maps?hl=ja&ie=UTF8&om=1&z=18&ll=43.086755,141.196949&spn=0.002523,0.004383>

<http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.html?meshcode=64415105>

受付開始：2016年1月4日（月）午前9時

申込締切：一次締切 2016年1月15日（金）24時

二次締切 2016年2月8日（月）24時

申込方法：

申込先：dimmsapporo@jsmmed.org

申込手順：

①必要書類

1. 添付した申込用紙。（必要事項を記入してあること）

2. 山岳保険のコピー。（有効期限内であること）

上記を申込先メールアドレスまで送る。

（申込はメールのみ。その他で届いても受理しません。）

②申込書類の受け取り・受講可能（定員内であること）の確認メールを実行委員より受け取る

③振込を下記要領で行う（振込名の記載方法に注意）

④入金確認後、正式申込完了。

注意：申込完了順に受講確定。定員になり次第募集終了します。

参加費振込：

振込先：

みずほ銀行 神田駅前支店 店番号009

口座番号 普通預金 2296725

口座名 一般社団法人日本登山医学会 認定山岳医委員会

シャ)ニホントザンイガクカイ ニンテイサンガクイ イインカイ

最終振込期限：

2016年2月12日（金）

振込者の名前の記載方法：

一般会員用

姓+受講番号+サッポロ

例) カミコマキ26サッポロ

受講取り消しについて：

2015年度の募集要項の(10頁)記載に基づき、下記のように致します。

「(4) キャンセリングポリシー：受講登録料はお返しできません。各コースの受講料も原則的にはお返ししません。但し、もっぱら運営者側の責任によりクラスが受講できなくなった場合は、そのクラスの受講料はお返しします。」

注意事項：・2016年度以降もこのクラス開催地は札幌を予定しております。

- ・ヘリコプターレスキューが中止になった場合でも、救助にかかわる2月20日分の必要単位は履修したものとみなします。
- ・両日参加者は必ずテイネパラダイスヒュッテに宿泊してください。
- ・谷川クラス・那須クラスからの移行措置は2011年度で終了しております。
- ・2/20朝に千歳空港到着ですと、講習開始に間に合いません。2/19夜迄に札幌市内にお入りください。2/20朝は札幌市内からだど、講習会場まで間に合います。最寄り駅のJR手稲駅直結の手稲ステーションホテルあり。
- ・2/20宿泊施設からは、各自で会場迄お越し下さい。昨年は受講生同士のMLで、駅前で待ち合わせてタクシー乗り合いしていました。公共交通機関では間に合いません。(手稲駅→会場入口 車で30-40分。下車後雪原を徒歩7分。) 帰りのタクシー予約は、人数を確認し、実行委員で手配致しました。
- ・テイネハイランド施設内には宿泊施設はありません。
- ・冬の北海道は、公共交通機関の定時運行が困難です。タクシー利用も、雪道や渋滞で思う様に動けません。時間に余裕をもって行動計画をお立て頂けますよう、何卒よろしく願い申し上げます。
- ・天候により、稀に飛行機の運行が中止されることがあります。2月19日に来札できない、2月21日中に帰れない可能性もゼロではございませんので、ご了承下さい。
- ・上記状況を鑑みまして、受講生の緊急時連絡網（携帯電話、携帯メール）を後日作成させていただき、スタッフ・受講生で情報共有します。緊急連絡網への掲載を拒否される方は受講申込時にお申し出下さい。有事の際の連絡網掲載拒否の方への連絡は、最後になり得ることをご理解下さい。
- ・習得目標、プログラム詳細、持ち物等は、受講確定者にご連絡させて頂きます。
- ・その他、記載の無い内容に関しましては、その都度検討し協議の上、対応させて頂きたいと存じます。

【Dave Hollinger 紹介】



Dave Hollinger is a full-time IFMGA Mountain and Ski guide. He is a member of the Management Committee for the British Mountain Guides as well as one of the training and assessment team for new mountain guides in the UK. His personal work focuses on traditional alpine guiding in the European Alps (summer and winter) plus instruction in all aspects of UK mountaineering.

His enthusiasm for the mountains is equally shared between summer and winter and he enjoys the rich diversity of all aspects of climbing and mountaineering. He has over 20 years of climbing, mountaineering

一般會員用

and skiing experience worldwide.

This has included 5 Himalayan expeditions (Pakistan [2], Nepal [2] and China [1] with ascents of Ama Dablam (6856m) via NW Face (2nd ascent) and SW Ridge (classic); ascents of classic big walls in North America (Yosemite, Zion, Utah); the European Alps (completion of all 6 classic North Face Routes including Eiger and Matterhorn) and, of course, the huge variety of climbing in the UK.

Also he is a former Irish orienteering champion.

Originally from Northern Ireland, he is now based with his wife and two small children in Sheffield, UK.

以上

(20151212-2)